

2014年度 決算のご説明

(2014年4月1日～2015年3月31日)

- I. 2014年度 決算概要
- II. 2015年度 事業計画

2015年5月11日
本多通信工業株式会社
代表取締役社長 佐谷 紳一郎

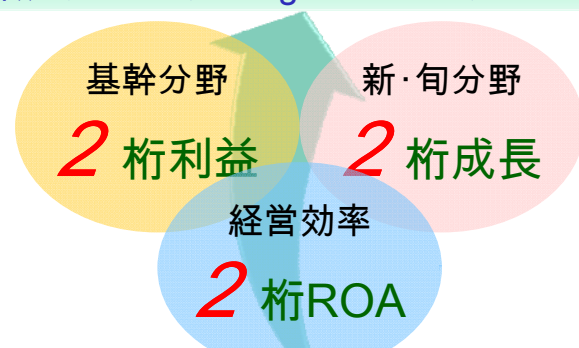
I.2014年度 決算概要

12%増収、純利益は実質倍増、過去最高のROA

1. 中期経営計画“DD15”の基本コンセプト

3つのDouble-Digitsで成長性・収益性・効率性をワンランクUp

特徴と魅力のあるSegments No.1プロバイダ



早い・軽い・上手い“業界No.1のフットワーク”

2015年

売上高
180億円

営業利益率
8%

ROA
10%

2. 通期業績

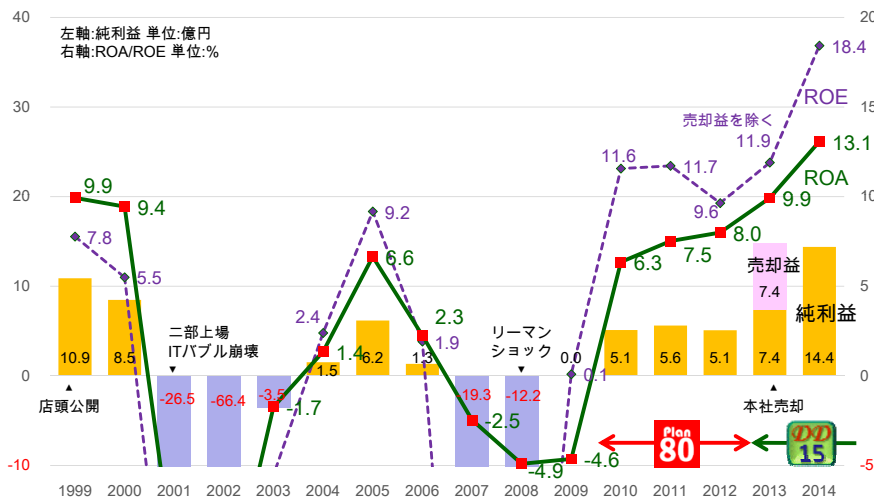
車載分野が牽引し12%増収
増収/合理化/円安等により、純利益は実質的に倍増

()内利益率 単位:百万円

	2013年度	2014年度	前年比	修正 見通し比	2/19 修正見通し
売上高	14,824	16,639	112%	104%	16,000
営業利益	932 (6.3%)	1,415 (8.5%)	152%	109%	1,300 (8.1%)
経常利益	975 (6.6%)	1,565 (9.4%)	161%	108%	1,450 (9.1%)
当期純利益	1,479 (10.0%)	1,439 (8.6%)	97%	120%	1,200 (7.5%)
移転/売却損益を除く 当期純利益 (特別損益 740百万円)	739 (5.0%)	1,439 (8.6%)	195%		
	為替(円/1\$)		2013年度		2014年度
	期中平均		100円		110円
	期末日		103円		120円

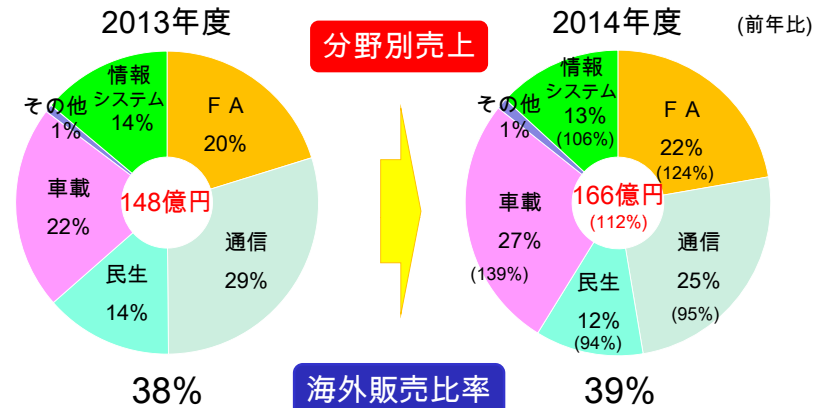
3. 上場以降の純利益/ROA/ROE

ROAは上場来最高の13.1%
純利益、ROEも実質的に過去最高



4. 分野別売上構成と前年比

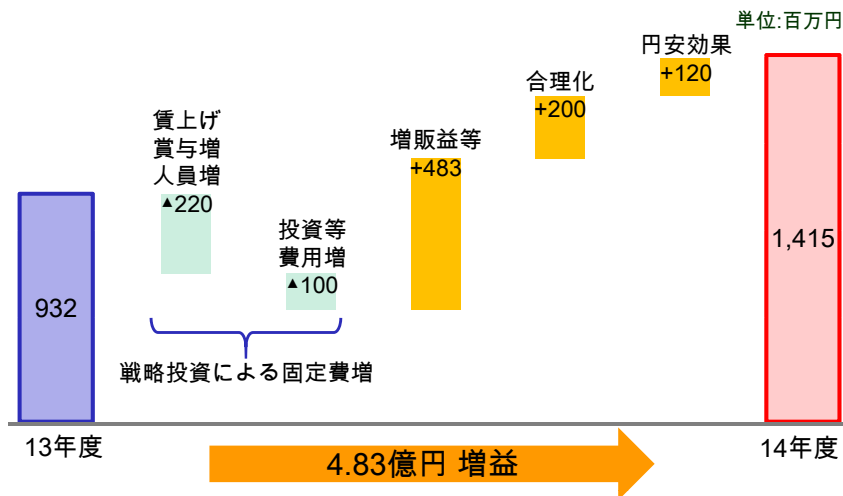
車載分野が続伸、FA分野が堅調な設備投資需要で回復



FA: スマホ/車等で設備投資旺盛
通信: 基幹系需要のシュリンク継続
民生: DSCの台数減が影響
車載: 車載カメラの市場拡大を捉えた
情報: クラウドでの仮想化需要が堅調

5-1. 利益分析: 営業利益/前年比

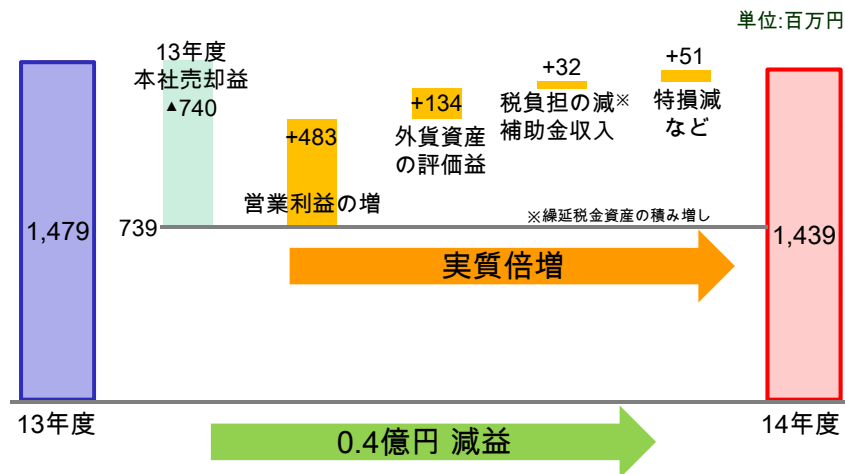
戦略投資による固定費増を増販で吸収、合理化/円安で増益



◆為替(期中平均) 13年度: 1\$= 100円、14年度: 1\$= 110円

5-2. 利益分析: 純利益/前年比

営業利益の増、外貨資産の評価益で実質倍増



◆為替(期末日) 13年度: 1\$= 103円、14年度: 1\$= 120円

II.2015年度 事業計画

“Touch & Go”で
DD15の完遂と過去最高の更新に向けて基盤整備

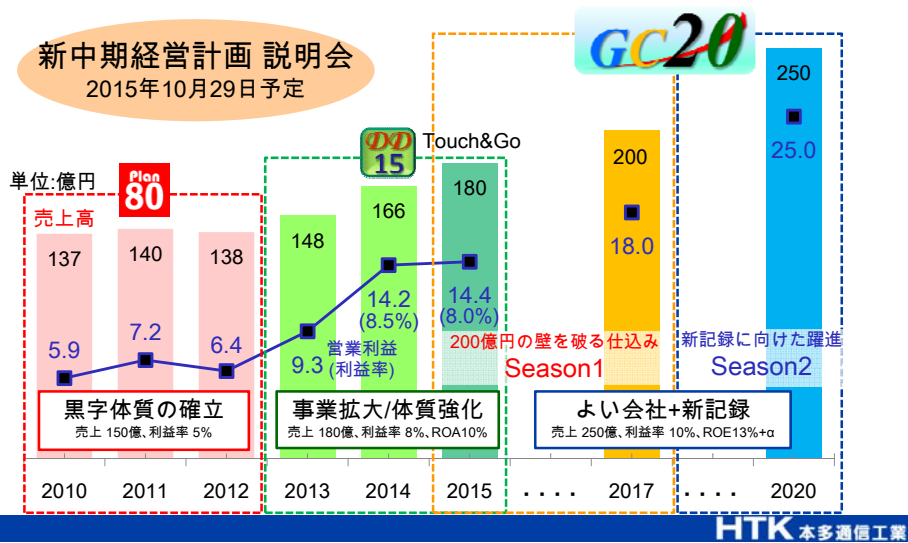
1. 2015年度 基本方針 “Touch & Go”

“DD15”のゴールに“Touch”
目線をもう一段あげて過去最高更新へ“Go”



2. 新中期経営計画“GC20”の枠組み

持続的成長ができる“よい会社”へ + 過去最高を更新
2015年度はその初年度



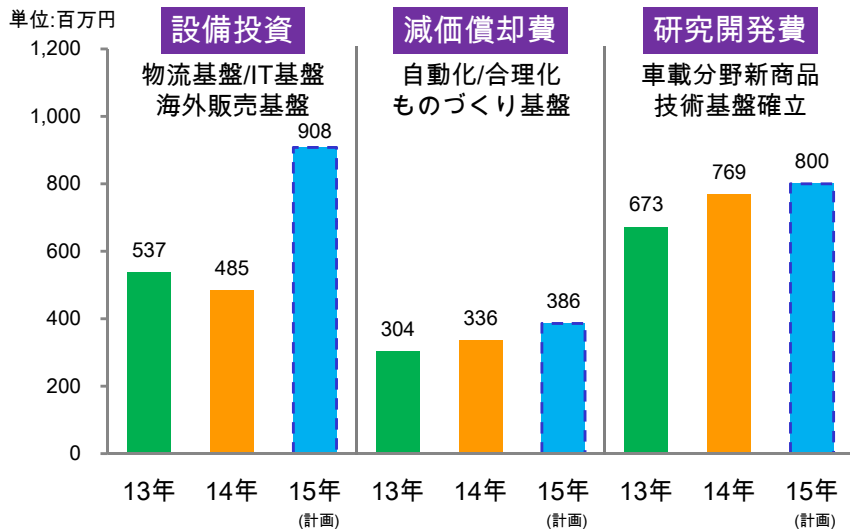
3-1. 今年度の主な基盤整備

“GC20”の目標達成に向けて基盤整備を推進



3-2.今年度の投資計画

まずは200億円の壁を破る仕込みで戦略投資



4. 2015年度 業績予想

車載分野の伸長、FA/情報システムの堅調で6%増収
 戦略投資による費用増を吸収し、営業利益は6%増
 為替および税で経常/純利益は減少...実質は約10%増

	2014年度 (利益率)	2015年度 通期計画 (利益率)	前年比	2015年度 上期計画 (利益率)	前年比
売上高	16,639	17,700	106%	8,400	104%
営業利益	1,415 (8.5%)	1,500 (8.5%)	106%	700 (8.3%)	108%
経常利益	1,565 (9.4%)	1,530 (8.6%)	98%	700 (8.3%)	99%
当期純利益	1,439 (8.6%)	1,350 (7.6%)	94%	630 (7.5%)	103%

◆為替レート
 期中平均 1\$=110円 1\$=115円
 期末日 1\$=120円 1\$=115円

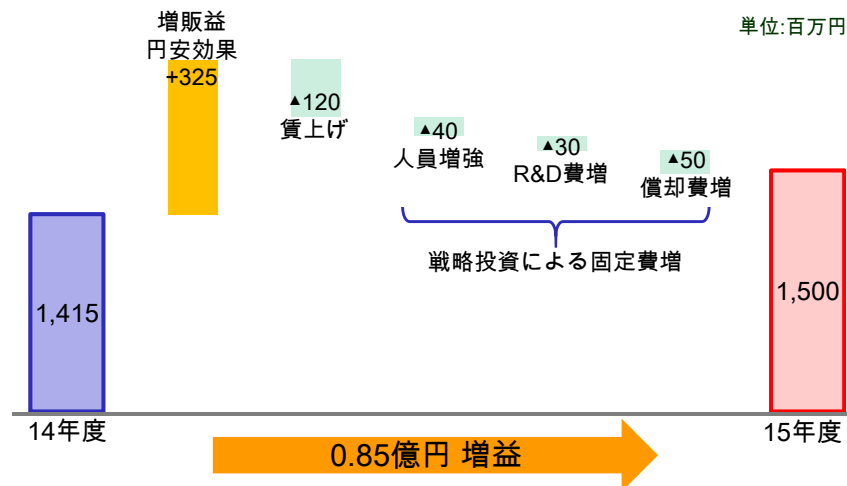
5.今年度の増販活動

車載分野の強化、旬分野への攻め込みで10億増販とネタづくり

車載分野	旬分野
<ul style="list-style-type: none"> ●車載カメラコネクタ <ul style="list-style-type: none"> ・水平展開 ⇒国内1社へ納入開始 ⇒国内外で新規ユーザ開発 ・新商品開発 ⇒アナログ市場向けVEタイプ ⇒デジタル市場向け高性能タイプ ●ロック付きUSBコネクタ <ul style="list-style-type: none"> ・市場開発 ⇒中国カーナビ攻略 ⇒車載カメラとのセット提案 ・新商品開発 ⇒中継用などラインナップ拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ●4K市場 UHS-II対応SDソケット ⇒ハイエンドPC・DSC市場を総取り ●監視カメラ市場 細線同軸 ⇒中台韓のトップへ納入本格化 ●クラウド市場 仮想化ノウハウ ⇒最大手V社との連携で上流化 ●IoT市場 コネクタ&情報システム ⇒FA機器向け通信コネクタの増販 ⇒監視システム用M2Mシステム

6-1.利益予想の内訳:営業利益

戦略投資による固定費増を吸収し、6%増益

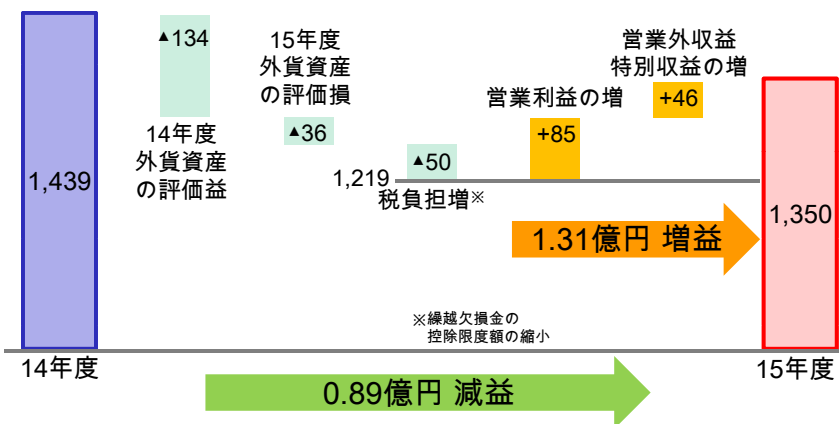


◆為替(期中平均) 14年度: 1\$= 110円、15年度: 1\$= 115円

6-2.利益予想の内容:純利益

為替および税で純利益は減少...実質は約10%増
経常利益も同様

単位:百万円



◆為替(期末日) 14年度: 1\$= 120円、15年度: 1\$= 115円

7.配当予想

自己資本の充実に伴い、配当性向を22%へUP

15年度 純利益予想 13.5億円

自己株式を除いた配当性向
22.3%

6/4より支払い開始

20円

2014年度
(15年3月期)



25円

2015年度
(16年3月期)

7期連続
増配へ

自己資本の充実							
年度	2008年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
配当	0円	2.5円	4円	7円	8円	12円	20円
自己資本比率	46%	45%	53%	57%	64%	63%	67%

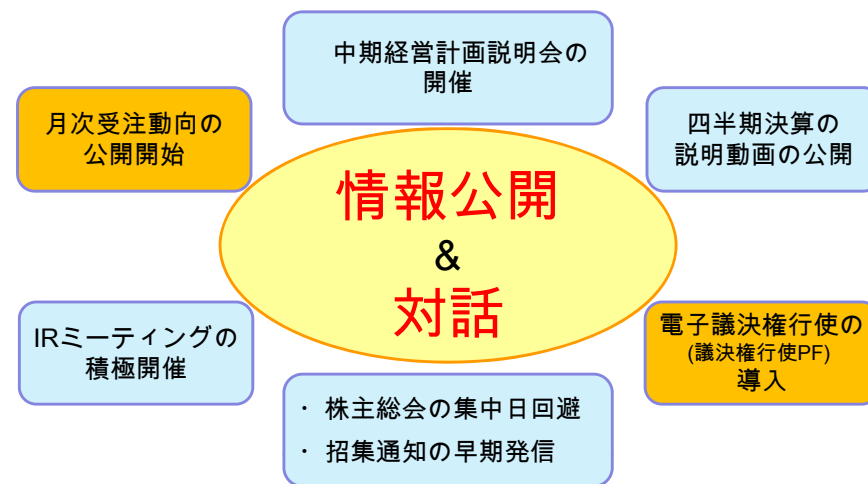
8-1.株主・個人投資家の皆様へ

様々なイベントにご参加ください

株主優待制度	ご招待イベント
<p>2015年も実施</p> <p>500株以上保有 ⇒ 2,000円程度の品 (安曇野の名産品)</p> <p>100株以上500株未満 かつ3年以上保有 ⇒ QUOカード500円</p>	<p>株主様をご招待</p> <p>1部 松本山雅FC HTK本多通信工業デー 日時:8月16日(日)※予定 場所:アルウィン(松本)</p> <p>1部 工場見学会 (HTKまつり※2015) 日時:9月5日(土) 場所:安曇野工場</p>
株主総会	個人投資家説明会
<p>対話がコンセプト</p> <p>日時:6月22日(月)13:00~ 株主総会/懇談会を開催 場所:大崎ブライツコアホール</p> <p>安曇野工場での中継を実施予定</p>	<p>是非ご参加ください</p> <p>夏: 7月に東・名・阪で開催予定 秋: 新中期経営計画“GC20”ご説明 (東・名・阪で予定) 冬: 中核市での開催を予定</p>

8-2.機関投資家の皆様へ

従来からの積極的な情報公開と対話を一層進化させます





8-3. 株主総会

今年もオープンな対話をコンセプトに運営します

- 日時 6月22日(月) 13:00～
集中日を避け、お出掛けいただきやすい午後に開催します
- 場所 大崎ブライツコアホール
6月にオープンするJR大崎駅と直結した至便なホールです
- 併催 株主総会に続いて全役員が出席する懇談会を開催します
安曇野工場にて株主総会を中継します



【ご審議いただく議案は2件です】

1. 取締役の選任(2/19発表)
現取締役4名と社外取締役“澤田 脩”の選任をお諮りします(選任後の社外取締役は1名です)
2. 監査役の選任(4/28発表)
社外監査役“茂呂 和夫”の選任をお諮りします(新体制の監査役3名は全員が社外監査役です)

招集ご通知は6月3日に発送/WEB開示します



IRに関するお問い合わせ先

本多通信工業株式会社
経営企画グループ

TEL : 03-6853-5820

URL : <http://www.htk-jp.com/>



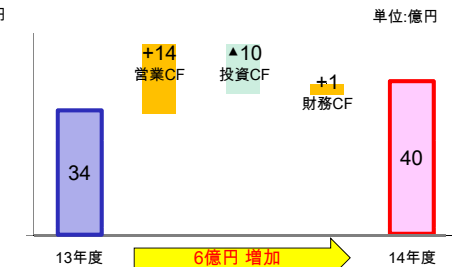
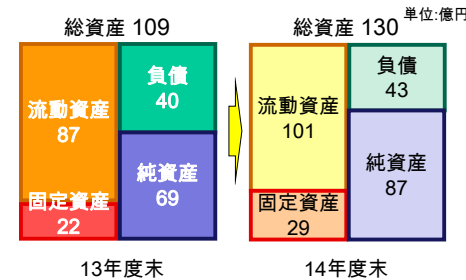
ご参考



1. 2015年度 決算数値・指標

■B/S 純資産26%増、総資産130億へ

■C/F キャッシュが約6億円増加



■CCC 11日短縮で効率向上

指標	2014年度	2015年度
売上債権回収	83.7	82.5
在庫回転日数	41.3	36.3
仕入債務支払	△44.0	△49.5
CCC	80.9	69.3

■ROA(総資産経常利益率) 店頭公開来の最高

2013年度 9.9% → 2014年度 13.1%

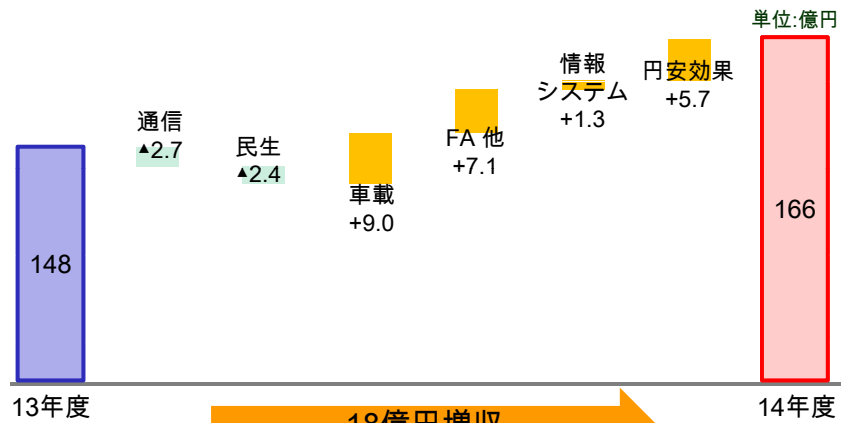
■ROE(自己資本純利益率) 実質過去最高

2013年度 (実質)11.9% → 2014年度 18.4%



2-1.売上分析:分野別/前年比

車載の続伸、FA分野の回復 + 円安効果⇒2桁増収
通信は基幹系を中心に漸減傾向



※為替(期中平均) 13年度: 1\$= 100円、14年度: 1\$= 110円



2-2.売上分析:分野別推移

車載分野が順調に拡大
FA分野は1-2Qでの顧客在庫増を3Qで調整

単位: 百万円

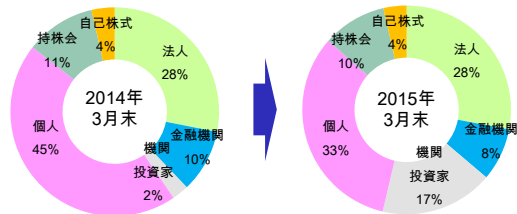
	2013年度				2014年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
通信	1,156	1,098	1,108	1,030	1,060	1,038	1,018	1,051
FA	720	733	676	868	971	953	839	942
車載	583	893	847	904	898	1,117	1,210	1,247
民生	506	586	505	430	442	456	544	461
情報システム	402	571	466	620	463	605	493	627
連結	3,388	3,913	3,640	3,883	3,891	4,207	4,166	4,375



3.株式情報

活発な対話で機関投資家が増加

保有株主分布



IRミーティング回数

2013年度 16回 → 2014年度 73回

年間出来高推移

流動性が改善

単位: 千株

【ご参考】※株価 3/末現在, B/S 3/末時点
 ■株価 1,369円 ■時価総額 171億円
 ■EPS 119.4円 ■PER 11.5倍
 ■PBR 1.96倍 ■配当利回り 1.46%

